

高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第3週(1月17日～1月23日)

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
 TEL: 088-821-4961 FAX: 088-820-2879
 http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/
 E-mail: kansen@kenk.pref.kochi.jp

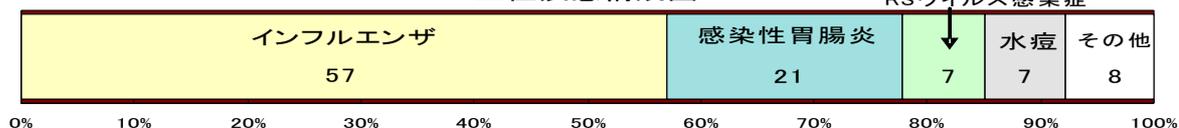
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患: インフルエンザ, 水痘

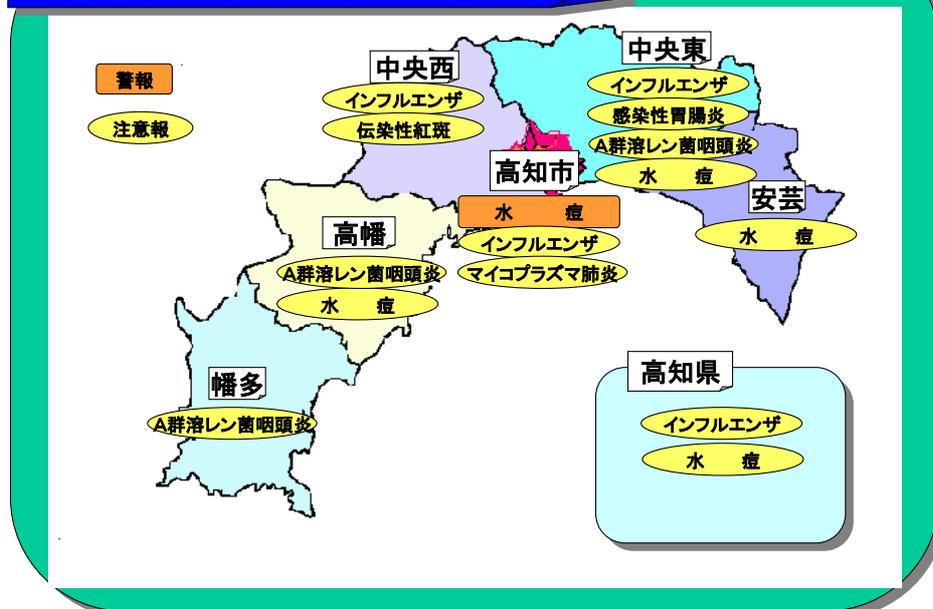
- ・ 厳しい寒さが続いているが、週末は日中の気温が上がり暖かく感じられた。
- ・ インフルエンザ(高知市: 注意報, 中央東: 注意報, 中央西: 注意報)は引き続き全ての地域で増加し、総数は前週の3倍増となり注意報値を超した。
- ・ 感染性胃腸炎(中央東: 注意報)は中央東と幡多で増加し、中央東では注意報値を超した。
- ・ 水痘(高知市: 注意報→警報, 高幡: 警報→注意報, 安芸: 注意報→注意報, 中央東: 注意報)は高知市, 中央東, 安芸で増加し、総数は前週の約1.3倍に増加した。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(高幡: 注意報→注意報, 中央東: 注意報, 幡多: 注意報→注意報)は第52週に大幅に減少し、以降横ばいの報告が続いたが、中央東, 高知市, 高幡で増加し、総数は前週の1.6倍に増加した。

上位疾患構成図



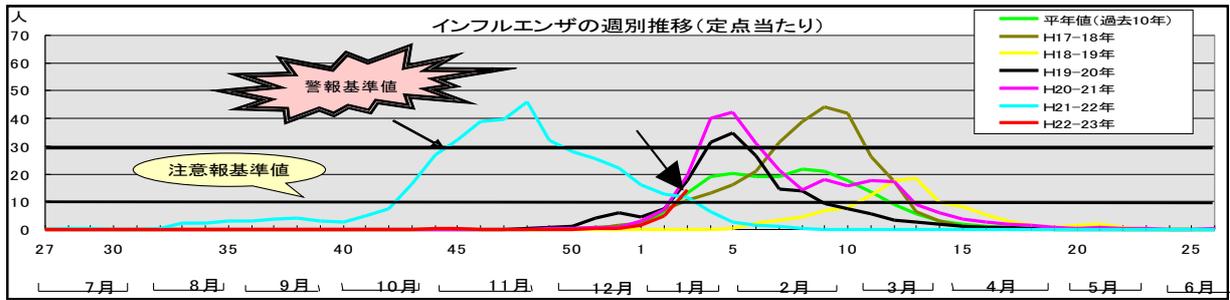
地域別感染症注意報・警報発生状況

第3報 (2011年1月17日～2011年1月23日)



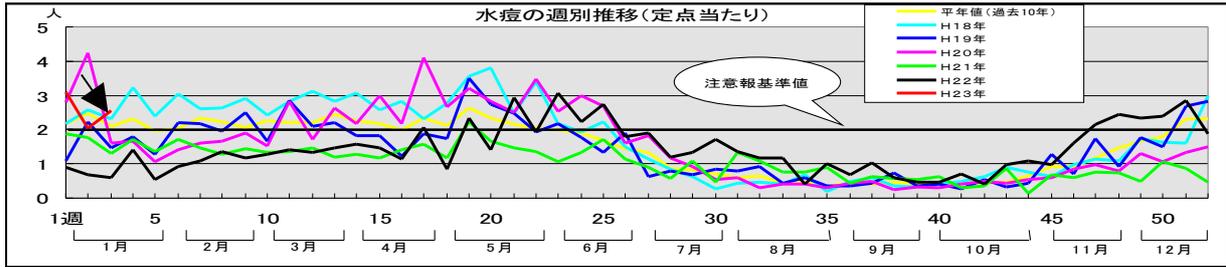
インフルエンザ: 今週14.13 (注意報値: 10.00 警報値: 30.00)

地域毎にみると、高知市, 中央東, 中央西で注意報値を超している。また、年齢別でみると、5～9歳が25.4%, 10～14歳が17.8%, 1～4歳が15.6%を占めており、若年層への感染が一気に広がった。今週はAH1pdmのみ、26件検出されている。また、今シーズン初めてとなる施設からの報告があり、1中学校で学年閉鎖, 1高等学校で学級閉鎖の措置が取られた。今後も報告数の急増が続くと思われるので注意が必要である。



水痘：今週2.57（注意報値：2.00 警報値：4.00）

特に高知市では、前週の約1.7倍に増加し、再び警報値を超した。その他、高幡、安芸、中央東で注意報値を超している。



○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
3	マイコプラズマ肺炎	8歳 男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
3	マイコプラズマ肺炎	11歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
3	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	Norovirus G II
3	感染性胃腸炎	3歳 女	高幡	Norovirus G II
35	咽頭気管支炎	1歳 男	中央東	Saffoldvirus-2
39	咽頭結膜熱	3歳 男	高知市	Saffoldvirus-2
44	感染性胃腸炎	5歳 男	高知市	Saffoldvirus-2
44	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	Saffoldvirus-2
44	流行性耳下腺炎	6歳 女	高幡	Saffoldvirus-2
46	感染性胃腸炎	1歳 女	高幡	Saffoldvirus-2

インフルエンザ（Influenza virus AH1pdmのみ）が26件検出された。

地域	年齢区分								総計
	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50歳以上	
高知市	4	4	1						9
高幡	2	9	2		1		2		16
中央東					1				1
総計	6	13	3	0	2	0	2	0	26

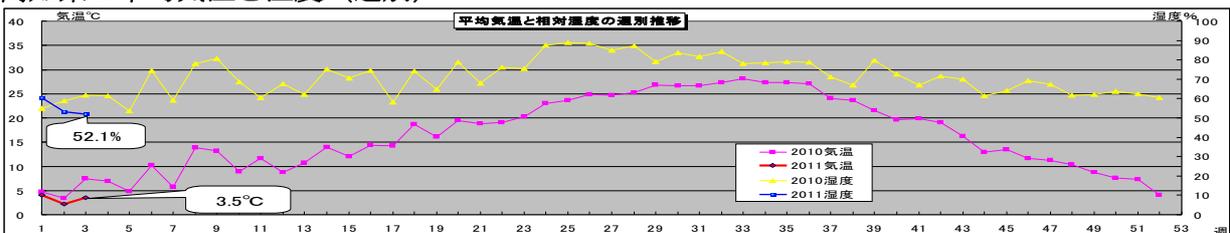
○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 3例（19歳男：無症状病原体保有者）《中央東》（74歳女）《中央西》（86歳女）《高知市》（今年9例）

4類感染症：レジオネラ症 1例（85歳男）《高知市》（今年1例）

5類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例（37歳男）《高知市》（今年1例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 3例（4歳女，0,6歳男） インフルエンザの10例は全てA型陽性
RSウイルス感染症が18例とさらに流行している

《渭南病院小児科》：インフルエンザの11例中1例（63歳男）はA型陽性、10例はB型陽性、予防接種歴ありは2例、なしは9例
《こいけクリニック》：インフルエンザの7例は全てA型陽性
《松谷内科》：インフルエンザの5例中4例はB型陽性、1例は臨床診断
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の2例中1例（33歳女）は迅速キットで陽性、1例（9歳男）は臨床診断

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの15例は全てA型陽性、うち2例は予防接種歴あり
滲出性扁桃炎（アデノウイルス感染） 1例
《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの3例は全てA型陽性
《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの19例は全てA型陽性、うち3例は予防接種歴あり
《くぼたこどもクリニック》：突発性発疹の1例（7ヵ月女）は香南市 口唇ヘルペス 2例（4, 25歳女）
インフルエンザの15例は全てA型陽性、うち2例は予防接種歴あり

高知市：

《細木病院小児科》：ロタウイルス陽性 1例（2歳男）
《矢野小児科》：インフルエンザの23例中1例は予防接種歴あり
《福井小児科内科》：インフルエンザの37例全てはA型陽性、うち10例は予防接種歴あり
咽頭結膜熱の1例（9歳男）はアデノウイルス陽性
伝染性紅斑がある保育園で流行している模様
《けら小児科・アレギー科》：インフルエンザの51例は全てA型陽性、うち15例は予防接種歴あり
《高知医療センター小児科》：インフルエンザの8例は全てA型陽性、うち4例は予防接種歴あり
《細木病院内科》：インフルエンザの11例は全てA型陽性、うち予防接種歴ありは3例、なしは5例
《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの31例は全てA型陽性、うち予防接種歴ありは3例、なしは24例
《近森病院内科》：インフルエンザの37例中30例はA型陽性、1例はB型陽性、予防接種歴ありは4例、なしは13例
《高知医療センター内科》：インフルエンザの7例は全てA型陽性、予防接種歴なし

中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：インフルエンザの14例中4例はA型陽性
咽頭結膜熱の1例（1歳男）はアデノウイルス陽性
マイコプラズマ肺炎 1例（11歳男）
《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの5例は全てA型陽性
《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの54例は全てA型陽性
《野市中央病院小児科》：インフルエンザの1例（6歳女）はA型陽性、予防接種歴なし
《早明浦病院小児科》：ノロ、ロタは検出できないが、某保育所を中心に嘔吐、下痢症状の感染性胃腸炎が増加
《野市中央病院小児科》：インフルエンザの8例は全てA型陽性、うち予防接種歴ありは5例、なしは3例
《いちほら内科小児科》：インフルエンザの46例は全てA型陽性
《JA高知病院内科》：インフルエンザの11例は全てA型陽性
《野市中央病院内科》：インフルエンザの21例中17例はA型陽性、4例はB型陽性
《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの1例は大川村

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの14例中8例はA型陽性、1例はA・B両方弱陽性
《田野病院小児科》：インフルエンザの13例中12例はA型陽性
《県立安芸病院内科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性、予防接種歴なし

全国情報第1週（1/3～1/9）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核226例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症10例（有症者9例、うちHUS 1例）、パラチフス1例

4類感染症：A型肝炎2例、エキノコックス症1例、コクシジオイデス症1例、つつが虫病11例、デング熱1例、マラリア1例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢4例、ウイルス性肝炎（B型）2例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群7例（AIDS 1例、無症候6例）、ジアルジア症1例、梅毒4例、破傷風1例、風しん1例、麻しん6例

報告遅れ：デング熱1例、マラリア1例

◆インフルエンザ

2011年第1週のインフルエンザの定点当たり報告数は5.06（報告数24,841）となり、第42週以降12週連続で増加が続いている。都道府県別では沖縄県（25.90）、福岡県（11.53）、佐賀県（11.41）、長崎県（9.29）、宮城県（9.15）、鹿児島県（7.41）、宮崎県（7.25）、千葉県（6.60）の順となっている。

2010年第36週～2011年第1週までの期間中に国内では1,526検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm 666件、AH3亜型（A香港型）784件、B型76件とAH3亜型が最も多い。一方、2010年第49週以降ではAH1pdmの報告数の方がAH3亜型よりも多い状況が続いており、2010年第49週～2011年第1週までの5週間では、総検出報告数718検体中AH1pdm 453件（63.1%）、AH3亜型239件（33.3%）、B型26件（3.6%）であり、AH1pdmの報告数が最多となっている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(2週)	高知県(3週末累計) H23/1/3~H23/1/23
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	31	196	316	75	22	38	678 (14.13)	226 (4.71)	59,832 (12.09)	981 (20.44)
小児科	咽頭結膜熱		1	1		1	1	4 (0.13)	10 (0.33)	1,117 (0.35)	33 (1.10)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		18	19	2	7	10	56 (1.87)	35 (1.17)	4,542 (1.44)	128 (4.27)
	感染性胃腸炎	19	87	82	25	13	23	249 (8.30)	235 (7.83)	26,782 (8.49)	771 (25.70)
	水痘	5	14	45	4	7	2	77 (2.57)	61 (2.03)	6,241 (1.98)	231 (7.70)
	手足口病		1	4				5 (0.17)	7 (0.23)	300 (0.10)	13 (0.43)
	伝染性紅斑			6	3	1		10 (0.33)	1 (0.03)	2,145 (0.68)	11 (0.37)
	突発性発疹	1	1	2	1	2	2	9 (0.30)	11 (0.37)	1,736 (0.55)	28 (0.93)
	百日咳			1				1 (0.03)	2 (0.07)	77 (0.02)	3 (0.10)
	ヘルパンギーナ			2				2 (0.07)	2 (0.07)	74 (0.02)	6 (0.20)
	流行性耳下腺炎						3	3 (0.10)	2 (0.07)	3,622 (1.15)	8 (0.27)
	RSウイルス感染症	3	17	35	4	3	25	87 (2.90)	70 (2.33)	2,396 (0.76)	215 (7.17)
眼科	急性出血性結膜炎									11 (0.02)	(0.00)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)		389 (0.58)	4 (1.33)
基幹	細菌性髄膜炎									9 (0.02)	(0.00)
	無菌性髄膜炎									10 (0.02)	(0.00)
	マイコプラズマ肺炎			3				3 (0.43)	1 (0.14)	199 (0.43)	4 (0.57)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									14 (0.03)	(0.00)
計 (小児科定点当たり人数)	59 (21.75)	335 (37.68)	518 (37.66)	114 (28.00)	56 (22.50)	104 (17.95)	1,186 (30.89)				
前週 (小児科定点当たり人数)	38 (16.50)	157 (19.57)	288 (23.02)	63 (17.13)	45 (19.50)	72 (13.50)		663 (19.24)	109,496	2,436 (68.67)	

定点当たり

第3週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(2週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	7.75	17.82	19.75	15.00	5.50	4.75	14.13	4.71	12.09
小児科	咽頭結膜熱		0.14	0.09		0.50	0.20	0.13	0.33	0.35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.57	1.73	0.67	3.50	2.00	1.87	1.17	1.44
	感染性胃腸炎	9.50	12.43	7.45	8.33	6.50	4.60	8.30	7.83	8.49
	水痘	2.50	2.00	4.09	1.33	3.50	0.40	2.57	2.03	1.98
	手足口病		0.14	0.36				0.17	0.23	0.10
	伝染性紅斑			0.55	1.00	0.50		0.33	0.03	0.68
	突発性発疹	0.50	0.14	0.18	0.33	1.00	0.40	0.30	0.37	0.55
	百日咳			0.09				0.03	0.07	0.02
	ヘルパンギーナ			0.18				0.07	0.07	0.02
	流行性耳下腺炎						0.60	0.10	0.07	1.15
	RSウイルス感染症	1.50	2.43	3.18	1.33	1.50	5.00	2.90	2.33	0.76
眼科	急性出血性結膜炎									0.02
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.58
基幹	細菌性髄膜炎									0.02
	無菌性髄膜炎									0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.43	0.14	0.43
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.03
計 (小児科定点当たり人数)	21.75	37.68	37.66	28.00	22.50	17.95	30.89			
前週 (小児科定点当たり人数)	16.50	19.57	23.02	17.13	19.50	13.50		19.24		

2010年～2011年週報推移(定点当たり)

